野外博物館「日根荘遺跡」ウォーキングマップ

―日根野・土丸・大木の遺跡と風景を歩こう―

泉佐野駅からバスにゆられて山手に進むと、日根野・土丸・大木地区の美しい田園風景が広がります。ここが中世の里・「日根荘」の世界です。

日根荘には多くの遺跡・史跡があり、そのうち15か所は国の史跡に指定されています。マップを片手に、日根荘の世界を歩いてみましょう。

空からみた大木地区（平成8年撮影）

平成19年度芸術拠点形成事業（ミュージアムタウン構想の推進）
発行●日根荘野外博物館活用プロジェクト実行委員会　編集●歴史館いずみさの・荘園研究会
連絡先／〒598－0005　大阪府泉佐野市場東1丁目295－1　歴史館いずみさの
TEL072－469－7140　E－mail　rekishi@city.izumisano.lg.jp
発行／平成19年11月20日
制作／株式会社 ウイング

いま、よみがえる日根荘の世界

今から約800年前は、全国に貴族・寺社の領地（荘園）ができ、中世という時代です。現在の泉佐野市域に日根荘という荘園がありました。日根荘は京都朝廷の公家・九条家の荘園です。九条家は天皇に次ぐ摂政・関白となる有力な公家（五摂家）です。

日根荘が立てられたのは、鎌倉時代の天福2（1234）年。当初の日根荘の領域は、長滝荘・上郷・樫井をのぞく、現泉佐野市域の大部分を占めました。日根荘は鶴原村・井原村・日根野村・入山田村（現在の土丸・大木）の4か村から成り立っていました。

日根荘には広大な荒野が残っており、九条家や荘園住民は荒野の水田開発を進めます。

延慶3（1310）年には僧の実尊（実行上人）に、正和5（1316）年にも和泉国の久米田寺に、開発を行わせます。この二つの時期に荘園の絵図が作られ、村の実態や開発の様子がわかります（表紙と裏面の絵図を参照）。

南北朝の内乱期（1336年－1392年）には、室町幕府と南朝が土丸・雨山城をめぐって戦います。内乱が終わった1400年代初めには、九条家は鶴原村・井原村を奪われ、日根荘は日根野村と入山田村だけになりました。

これ以後、日根荘は、和泉国の守護大名細川家と、紀伊国から勢力を伸ばした根来寺との戦争に巻き込まれます。こうしたなか、前関白の九条政基は文亀元（1501）年から4年間、日根荘に滞在して支配を行いました。政基がこの間に記した日記が「政基公旅引付」（表紙）で、戦国時代の荘園の生活を知る上で超一級の史料です。しかし政基が京都に帰ると、日根荘は根来寺が支配するようになりました。根来寺も天正13（1585）年、豊臣秀吉に滅ぼされます。

このような歴史のある日根荘の故地には、中世につくられた神社・寺院・農業用水路・ため池・古道・石造物などが多く伝わり、歴史がはぐくんだ景観をみることができます。

●交通アクセス

■南海本線
■JR阪和線

なんば駅 ― 急行約35分 ― 泉佐野駅 ― 南海バス ― 日根荘遺跡（日根野・土丸・大木）
関西空港駅 ― 約10分 ― 泉佐野駅 ― 徒歩約15分 ― 歴史館いずみさの
天王寺駅 ― 快速約40分 ― 日根野駅 ― 南海バス ― 日根荘遺跡（日根野・土丸・大木）
日根野駅 ― 徒歩約20分 ― 歴史館いずみさの

野外博物館「日根荘遺跡」ウォーキングマップ
大木地区

①土丸・雨山城

南北朝内乱期に築かれた城です。城の主は室町幕府方の日根野氏、南朝方の橋本正督、和泉国守護（山名氏・大内氏）と変わりました。織田信長が攻めよせた天正5（1577）年にも土丸・雨山に城がありました。

②円満寺

中世の大木村（現下大木）の寺院です。文亀3（1503）年、円満寺で般若心経講誦の祈祷があり、入山田村の人々が集まって一万度参りをしました。村の法会や田舞（舞の一種）も行われています。守護の軍勢に備えて村人を招集する鐘もありました。

③長福寺跡

文亀元（1501）年からの4年間、九条政基が滞在した寺院の跡と考えられます。発掘により建物跡などが見つかりました。「旅引付」によれば、長福寺のとなりに政基の住まいがありました。政基と家臣たち10数人が生活し、祭礼を行う広場もあったようです。

④畠田の石塔

四足橋の北、櫛田のなかにあります。宝篋印塔という石塔が並んでいます。このうち一つは文明13（1481）年の銘文があります。地元の言い伝えでは土丸城から落ちのびて「畠田の合戦」で討たれた武士の墓といいます。

⑤禅徳寺

禅宗の寺院です。高台にあり、境内からは大木地区を一望できます。禅徳寺の背後の山頂に平らな所があり、これが「大木城」あるいは入山田村の人々が立てこもる「村の城」ではないかと考えられています。

⑥西光寺

中世の畠蒲村（現中大木）の寺院です。禅徳寺から続く高台にあり、大木を見渡すことができます。応永8（1401）年の棟札があります（歴史館いずみさの常設展示資料）。本尊は平安時代の薬師三尊像（大阪府指定文化財）です。

⑧蓮華寺

中世の船淵村（現上大木）の寺院です。現在は上大木の集会所となっています。もとの境内には石造物が伝わります。一番背の高い石造物は庚申塔です。ここから南に下り橋を渡って進むと、美しい水田の景色を見ることができます。

⑨香積寺跡

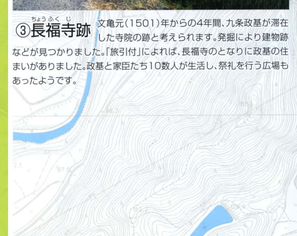
中世の船淵村（現上大木）の寺院です。「旅引付」によると香積寺は年末年始に長福寺の政基のもとに参上しています。政基に「双紙」（書物）を貸しています。建物は残っていませんが、宝篋印塔や五輪塔がたくさん伝わります。

⑩毘沙門堂

中大木の御所谷という谷にあります。「旅引付」によると「御所谷集会所」があり、畠蒲村の番頭に「御所谷宮内」がいました。境内には正平3（1348）年の板碑があります。毘沙門堂の近くを大木の用水路・大井が流れます。

⑦サエノカミの祠

上大木と中大木の境界にある祠です。村の境にまつられる神を「塞の神」「道祖神」といいます。地蔵があり石塔（五輪塔）や板碑もあります。櫻井川の恩随橋にも近く、歩く時の目印になります。この上の高台が西光寺です。


⑪火走神社

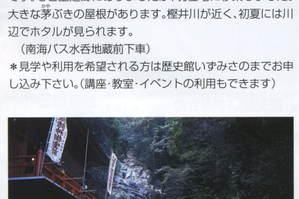
入山田村全体の神社で、滝宮大明神とよばれました。7月の盆には作り物や旗をこしらえて練り歩く風流念仏が行われました。8月の猿楽・田楽、11月の「ホタキ」神事、干ばつ時の雨乞い、入山田村の寄合の場でもありました。

火走神社の近くからみた櫻井川の風景です。櫻井川は日根荘の水田をうるおしてきた河川です。大木の大井・和井・畠蒲井などの用水路や日根野の井川や大池などの水源となっています。

毘沙門堂のある御所谷の上り坂です

水間道への方向を示す道標

ここから大木の風景が一望できます


蓮華寺・香積寺への途中、上大木で棚田の風景があります

旧向井家住宅

江戸時代の享和2（1802）年ごろに建てられた農家住宅です。もと上之郷にありましたが、現在地に移築しました。大きな茅ぶきの屋根があります。樫井川が近く、初夏には川辺でホタルが見られます。

（南海バス水呑地蔵前下車）

＊見学や利用を希望される方は歴史館いずみさのまでお申し込み下さい。（講座・教室・イベントの利用もできます）

犬鳴山七宝滝寺

犬鳴山七宝滝寺は修験道の行場として建てられました。九条家とゆかりの深い「家門の寺」だったようです。「旅引付」によれば入山田村の雨乞いをおこなう場でもありました。政基も戦乱をさけて犬鳴山に逃れ、「七宝滝寺縁起」を写しました。境内は町石・板碑など石造物の宝庫です。渓谷が美しく大阪府の名勝です。犬鳴温泉もあります。

（南海バス犬鳴山下車）

凡例
- 国史跡指定地
- 国史跡以外の史跡
- 池・川
- 古道
- ウォーキングコース
- バス停
- 境内の範囲
- 案内板
- 道標など
- 橋

泉佐野市作製地図（昭和59年測量・平成5年修正）1：2,500）を縮小　（1：4,000）

大木散策モデルコース

大木散策の見どころは、③長福寺跡（九条政基の居所）、⑪火走神社（入山田村全体の神社）、西光寺（大木を一望できる場所）です。それぞれ下大木・中大木・上大木のバス停の近くです。どのバス停からでも散策ができます。しかしせっかく歩くなら歴史のある道を歩きたいものです。下大木バス停からのモデルコースは次のとおりです。道ぞいにある道標や祠が歩く目印になります。バス道路は交通量が多いため、くれぐれもご注意を。

下大木バス停→②円満寺→③長福寺跡→（橋を渡る）→水間道→④畠田の石塔→（石段の上り坂）→⑤禅徳寺→⑥西光寺（大木を一望）→（急な下り坂）→⑧蓮華寺→（上り坂）→⑨香積寺跡→（来た道をもどる）→⑦サエノカミの祠→粉河道→（車に注意）→⑩毘沙門堂→⑪火走神社→中大木バス停